

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

アジア経済概況（2007年8月）

【目次】

・中華圏・韓国

- 1 .中国経済の概況・・・輸出と投資の堅調を背景に景気の拡大が続く ... p.1
- 2 .中国の主要指標解説：輸入の増勢は続くか ... p.3
- 3 .台湾経済の概況・・・4～6月期は投資主導で5.1%成長に加速 ... p.4
- 4 .韓国経済の概況・・・4～6月期は輸出・投資堅調で4.9%成長 ... p.5

・ASEAN・インド

- 1 .タイ経済の概況・・・内需持ち直すも輸出鈍化で景気は依然弱含み ... p.6
- 2 .インドネシア経済の概況・・・輸出主導で4～6月期は6.3%成長 ... p.7
- 3 .マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標 ... p.8
- 4 .ベトナム経済の概況・・・内外需の堅調を背景に景気拡大が続く ... p.9
- 5 .インド経済の概況・・・引締め政策の影響で一部に鈍化の兆し ... p.10

- ・アジア通貨・株価動向 ... p.11



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

調査部

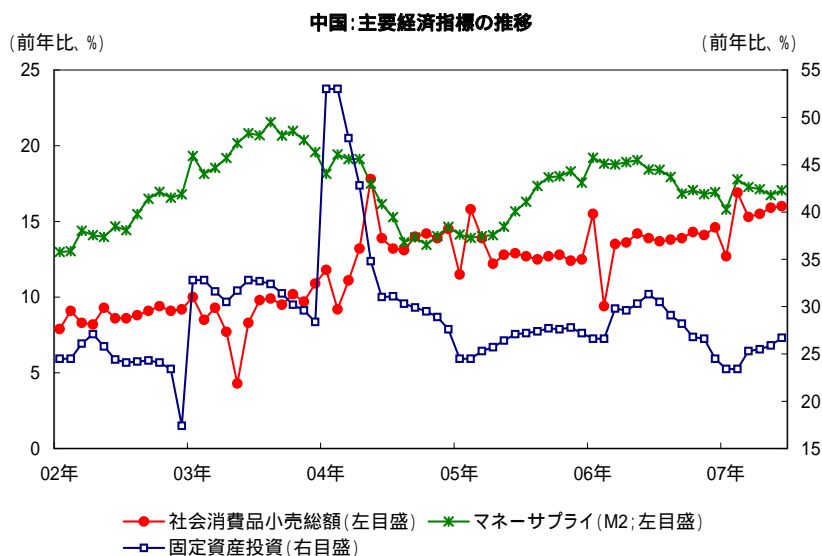
【お問い合わせ先】海外経済班

野田 (mariko.noda@murc.jp)

・ 中華圏・韓国

1 . 中国経済の概況

- ・ 輸出と投資の堅調を背景に景気の拡大が続いている。7月の輸出は前年同月比34.1%増と前月(同27.0%増)を大きく上回る拡大となった。事前には7月1日からの輸出増徴税(付加価値税)還付率引下げ前の駆け込み輸出の反動で7月の輸出は鈍化するとの見方が多かった。しかし結果はまったく逆となり、改めて中国製品の競争力の高さを示すものとなった。地域別にはEU向け(前年同月比50.2%増)、米国向け(同18.9%増)並びにASEAN向け(同40.0%増)が好調であった。一方輸入も活発な投資あるいは原油輸入の拡大を背景に同26.9%増と前月(同14.3%増)に比べて大幅に拡大した。しかし、それでも7月の貿易黒字は244億ドルと3カ月連続で200億ドルを上回った。
- ・ 輸出の好調を反映し、7月の鉱工業生産も同18.0%増と前月に比べてやや鈍化したものの堅調な拡大が続いている。また1~7月期の固定資産投資は前年同期比26.6%増と依然として高い水準が続いている。
- ・ 他方、7月の社会消費品小売総額は外食などを中心に前年同月比16.4%増と前月(同16.0%増)を上回り、年初来、伸び率の加速傾向が続いている。
- ・ 7月の消費者物価上昇率は食品価格の高騰から一段と加速し、前年同月比5.6%と2004年9月以来約3年ぶりに5%台に乗った。マネーサプライも7月同18.5%増と再び増勢が強まっている。こうした中で中国人民銀行(中銀)は8月20日、国内資金の海外還流策の一環として個人に対する海外株式投資規制の緩和を発表。また翌21日には今年4回目となる基準金利の引き上げを決めた(実施は22日)。



(注) 固定資産投資は年初からの累計の前年比、各年1月と2月は1~2月の前年同期比(同値)をプロット、04年以降は都市部・投資額50万元以上のみ。(出所)CEIC

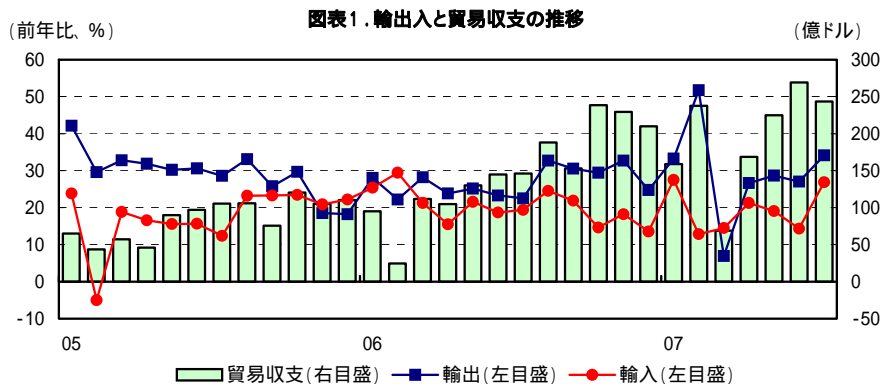
【中国・香港の主要経済指標】

			2004年	2005年	2006年	06/3Q	06/4Q	07/1Q	07/2Q	07/4月	07/5月	07/6月	07/7月	
中国	GDP	実質GDP成長率 (累計ベース)	前年比%				10.6	10.4	11.1	11.9				
		名目GDP成長率 (累計ベース)	前年比%	10.1	10.4	11.1	10.7	11.1	11.1	11.5				
	消費	社会消費品小売総額	前年比%	13.3	12.9	13.7	13.8	14.3	15.0	15.8	15.5	15.9	16.0	16.4
		うち市	前年比%	20.6	20.6	14.3	14.3	14.8	15.5	16.3	16.0	16.3	16.4	16.7
		うち県	前年比%	18.6	15.2	13.3	13.6	14.1	14.8	16.4	15.9	16.4	16.8	17.5
		うち県以下	前年比%	12.8	16.3	12.3	12.4	13.2	13.1	14.1	13.9	14.2	14.2	15.0
		自動車販売台数	前年比%	16.9	13.8	24.8	20.9	24.7	22.3	25.1	20.2	25.8	30.4	37.2
		うち乗用車	前年比%	19.3	21.5	36.7	28.6	28.9	31.1	22.7	17.4	23.9	27.9	34.5
		消費者自信指数	期中平均	92.9	94.2	94.7	94.7	96.2	95.8	96.8	96.2	96.7	97.5	
		消費者期待指数	期中平均	91.7	95.1	97.2	97.4	98.9	98.4	99.3	98.8	99.1	100.0	
	投資	固定資産投資 (都市部・50万円以上; 累計ベース)	前年比%	27.6	27.2	24.5	28.2	24.5	25.3	26.7	25.5	25.9	26.7	26.6
		うち不動産・居住用建物	前年比%	25.3	19.6	26.8	32.7	26.8	29.7	29.8	28.2	28.6	29.8	29.6
うち国内企業		前年比%	26.1	28.5	25.0	29.1	25.0	25.3	27.1	25.5	25.9	27.1	26.7	
うち製造業		前年比%	36.3	38.6	29.4	33.8	29.4	31.7	34.7	32.4	35.5	34.7	35.1	
うち鉄鋼		前年比%	26.9	27.5	2.5	0.9	2.5	13.5	9.6	6.2	4.9	9.6	9.2	
うち輸送機械		前年比%	43.2	51.1	25.2	37.8	25.2	31.4	30.6	29.6	30.6	30.6	33.4	
うち電気機械		前年比%	64.2	44.9	45.6	57.0	45.6	38.9	44.2	39.7	49.8	44.2	44.8	
うち情報通信機器		前年比%	32.7	18.2	38.7	40.7	38.7	30.4	32.3	34.6	34.0	32.3	30.6	
直接投資契約件数 (累計ベース)		前年比%	6.3	0.8	5.8	6.8	5.8	4.4	5.4	2.3	3.7	5.4	4.8	
直接投資実行額 (累計ベース)		前年比%	13.3	19.4	4.1	1.5	4.1	11.6	12.2	10.2	9.9	12.2	12.9	
不動産景気指数	期中平均	105.8	101.9	102.5	103.3	103.4	101.8	103.2	102.7	103.3	103.6	104.0		
貿易 及び 外貨 準備	貿易収支	10億ドル	32.8	102.1	177.5	48.7	67.8	46.5	66.2	16.8	22.5	26.9	24.4	
	輸出 (ドルベース)	前年比%	35.4	28.4	27.2	28.7	28.9	27.9	27.4	26.6	28.7	27.0	34.1	
	輸入 (ドルベース)	前年比%	35.8	17.7	19.9	22.0	15.5	18.2	18.2	21.2	19.1	14.3	26.9	
	対米貿易収支	10億ドル	80.3	114.2	144.3	39.9	42.1	34.7	39.2	12.5	12.6	14.1	14.4	
	対日貿易収支	10億ドル	20.7	16.4	24.0	7.8	6.4	6.4	7.7	2.8	1.8	3.2	2.9	
	外貨準備	期末10億ドル	609.9	818.9	1066.3	987.9	1066.3	1202.0	1332.6	1246.6	1292.7	1332.6		
生産	鉱工業付加価値額	前年比%	16.3	15.9	16.2	16.2	14.8	15.1	18.3	17.4	18.1	19.4	18.0	
	うち国有企業	前年比%	13.7	10.7	12.1	12.4	14.0	11.9	13.2	13.2	13.0	13.3	12.5	
	うち株式企業	前年比%	16.6	17.3	17.4	17.5	16.3	16.4	20.1	19.4	19.7	21.3	19.7	
	うち外商・港台企業	前年比%	18.5	15.8	16.7	15.6	14.2	14.3	16.9	15.4	17.1	18.3	17.4	
	在庫額	前年比%	20.2	21.0	18.5	18.1	18.8	n.a.	n.a.	n.a.	20.9			
	うち鉱物	前年比%	20.8	42.4	37.6	36.7	29.2	n.a.	n.a.	n.a.	22.2			
	うち素材	前年比%	25.4	27.1	19.6	19.9	19.3	n.a.	n.a.	n.a.	22.3			
	うち機械	前年比%	19.5	16.7	15.6	14.8	17.5	n.a.	n.a.	n.a.	21.8			
発電量	前年比%	15.0	13.4	14.7	16.5	15.3	12.4	17.7	16.9	18.1	18.0	15.8		
所得 雇用	都市一人当たり所得 (累計ベース)	前年比%	11.8	11.8	12.4	11.7	12.4	22.8	20.3					
	鉱工業雇用者数	前年比%	7.2	8.8	8.3	7.9	6.9	n.a.	n.a.	n.a.	6.0			
	労働力市場求人倍率	期末	0.94	0.96	0.96	0.96	0.96	0.98	0.98					
物価	第二次産業/全産業求人比率	期末%	31.9	30.8	33.0	32.6	31.3	34.7	37.3					
	消費者物価指数	前年比%	3.9	1.8	1.5	1.3	2.0	2.7	3.6	3.0	3.4	4.4	5.6	
	うち食品	前年比%	10.0	2.9	2.3	1.5	4.1	6.2	8.9	7.1	8.3	11.3	15.4	
	うち家庭設備・家庭用品	前年比%	1.4	0.1	1.2	1.5	1.8	2.1	2.1	2.2	2.2	1.8	1.7	
金融	生産者物価指数	前年比%	6.1	4.9	3.0	3.5	2.9	2.8	2.7	2.9	2.8	2.5	2.4	
	マネーサプライ (M2)	前年比%	14.9	16.3	17.0	17.7	16.9	16.9	17.0	17.1	16.7	17.1	18.5	
	インターバンク金利 (翌日物)	期中平均%	2.10	1.43	1.86	2.14	2.25	1.88	2.10	2.43	1.82	2.06	2.17	
	株価指数 (上海総合)	期末	1,267	1,161	2,675	1,752	2,675	3,184	3,821	3,841	4,110	3,821	4,471	
	為替レート (元/ドル)	期中平均	8.28	8.19	7.97	7.97	7.86	7.76	7.68	7.72	7.68	7.63	7.58	
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%	8.6	7.5	6.9	6.8	7.3	5.7	6.9				
		うち民間消費	前年比%	7.2	3.3	5.2	4.6	5.4	5.3	6.6				
		うち固定資本形成	前年比%	3.1	4.6	7.9	10.3	9.4	4.7	11.1				
	名目GDP成長率	前年比%	4.7	7.1	6.6	6.3	6.9	6.7	7.7					
	消費	小売販売数量指数	前年比%	8.1	6.1	5.6	6.0	6.3	7.4	8.0	1.6	9.7	13.1	
		不動産価格指数	前年比%	26.7	18.0	0.7	0.9	3.5	5.5	6.8	5.5	6.3	8.8	
		うち家屋160㎡超 (香港島)	前年比%	44.9	21.5	5.4	15.4	1.3	0.0	19.5	32.0	15.5	12.3	
	不動産販売取引件数 (香港域内)	前年比%	40.6	2.7	20.2	1.6	7.3	31.6	38.9	39.1	42.2	35.0		
	貿易	貿易収支	10億HKドル	93.7	81.4	138.8	26.3	32.8	40.3	54.3	20.6	14.3	19.4	
		輸出 (香港ドルベース)	前年比%	15.8	11.4	9.3	8.4	11.8	9.0	11.9	12.6	12.1	11.1	
輸入 (香港ドルベース)		前年比%	16.8	10.3	11.5	10.6	14.0	9.0	12.9	14.7	11.1	13.0		
物価	消費者物価指数	前年比%	0.4	0.9	2.0	2.3	2.1	1.7	1.3	1.3	1.3	1.4	1.6	
	マネーサプライ (M3)	期末%	8.6	5.2	15.7	14.4	15.7	16.5	20.7	13.0	9.4	20.7		
金融	ハンセン指数	期末%	14,230	14,876	19,965	17,543	19,965	19,801	21,773	20,319	20,634	21,773	23,185	

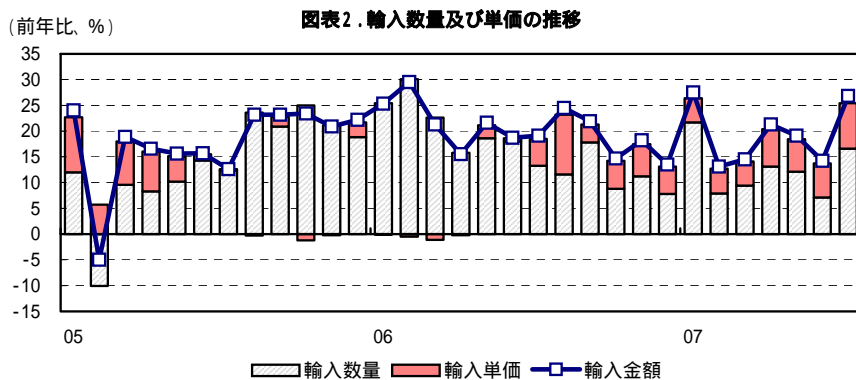
(出所) CEIC 他 (注) 直投実行額は05年から金融分野への投資も含むベース。不動産景気指数は05年より基準が改訂され、それ以前とは不連続。

2. 中国の主要指標解説：輸入の増勢は続くか

7月の貿易黒字は輸出の伸びが加速したにもかかわらず、輸入が大幅に拡大した結果、前月比25億ドル縮小した(図表1)。最近の輸入動向を見ると輸入数量が伸び悩む中、輸入単価の上昇が輸入金額の増加もたらしていることがわかる(図表2)。実際、7月に前年比95.2%増となった鉄鉱石輸入も数量よりも単価の上昇が輸入金額の増大につながっている(図表3)。しかし、少なくとも資源類の輸入について中国は従来、単価が落ち着いている時期に数量を増やす傾向が見られた。数量が伸び悩む中で、今後も単価の上昇に依存した形で輸入の増加が続くと見るのは難しいのではないだろうか。

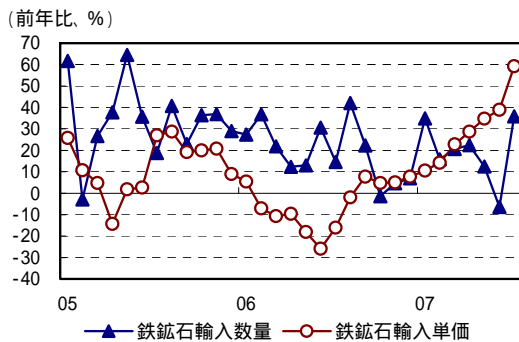


(出所)CEIC

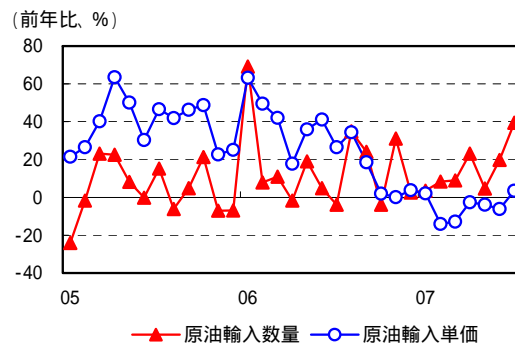


(出所)CEIC

図表3. 中国の鉄鉱石並びに原油の輸入数量と単価の推移



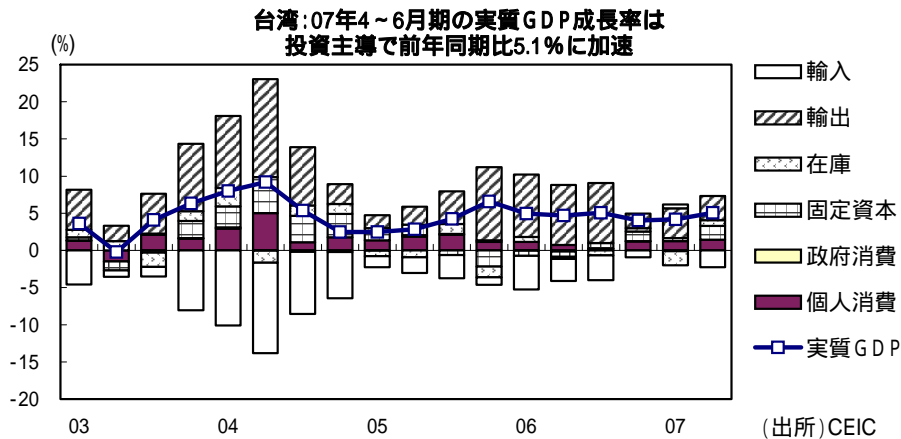
(出所)CEIC



(出所)CEIC

3. 台湾経済の概況

- ・ 輸出の堅調を受けた投資・生産の持ち直しから緩やかな景気回復が続いている。4～6月期の実質 GDP 成長率は、半導体産業を中心とした民間設備投資の拡大を牽引役に前年同期比 5.1%に加速した。7月の輸出は、地域別には中国、欧州、中東向け、品目別では電子製品、電気機械、精密機械などを中心に前年同月比 8.2%増と堅調に拡大した。また輸出受注が同 23.5%増と大幅に拡大しており、当面、輸出の増勢は続くと思われる。他方、8月上旬の新車販売は雇用環境の改善、株価の上昇に加えメーカーの販促が奏効し、前年比 6 倍近い拡大となった。しかし、今後については金融市場不安定化と台風被害の影響が懸念されている。
- ・ 7月の消費者物価は野菜や果物価格の大幅下落から前年比 - 0.3%となったが、8月は台風の影響で野菜の価格が高騰しており物価は再びプラスに転じよう。



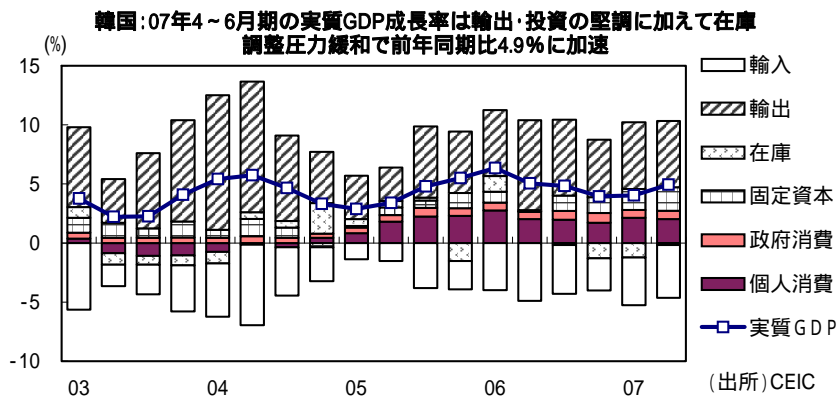
台湾の主要経済指標

		2004年	2005年	2006年	06/3Q	4Q	07/1Q	2Q	07/4月	07/5月	07/6月	07/7月
GDP (yoy)	実質 GDP	6.2	4.1	4.7	5.1	4.0	4.2	5.1				
	うち民間消費	4.5	2.8	1.4	0.4	2.3	2.1	2.6				
	うち総固定資本形成 (うち民間企業)	19.5	0.2	1.0	4.0	6.2	2.4	9.2				
生産	鉱工業生産 (yoy)	9.8	4.6	5.0	5.2	0.7	1.0	5.7	3.3	6.6	7.2	13.0
貿易及び 対外 関連	貿易収支 (10億ドル)	13.6	15.8	21.3	5.9	7.7	6.3	4.3	1.5	1.4	1.4	0.5
	輸出 (yoy)	21.1	8.8	12.9	18.6	7.6	8.5	6.6	5.5	3.5	11.0	8.2
	輸出受注 (yoy)	26.5	19.2	16.7	16.4	9.6	12.7	12.8	11.3	11.9	15.2	23.5
	輸入 (yoy)	31.8	8.2	11.0	15.1	9.9	3.1	7.2	11.8	0.1	10.7	16.7
関連	経常収支 (10億ドル)	18.5	16.0	24.7	6.2	8.4	8.7	5.0				
	外貨準備高 (10億ドル)	242	253	266	262	266	267	266	267	266	266	266
雇用	失業率 (季調値)	4.4	4.1	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	3.9	3.9
物価	消費者物価 (yoy)	1.6	2.3	0.6	0.3	0.1	1.0	0.3	0.7	0.0	0.1	0.3
金融	M2 (M2, yoy)	7.4	6.6	5.3	5.9	5.3	5.8	4.6	5.1	4.6	4.6	
	株価指数 (加権指数)	6,140	6,548	7,824	6,883	7,824	7,884	8,883	7,875	8,145	8,883	9,287
	短期金利 (オバーナイト)	1.04	1.30	1.56	1.59	1.66	1.69	2.12	1.73	2.13	2.50	2.01
	為替レート (NTドル/ドル)	33.4	32.2	32.5	32.8	32.9	32.9	33.1	33.1	33.3	32.9	32.8
	為替レート (円/NTドル)	3.24	3.42	3.58	3.55	3.58	3.63	3.65	3.59	3.63	3.73	3.70

(出所)CEIC (注) yoy = 前年比 (%)、貿易統計は再輸出と再輸入を加算した新ベース。

4. 韓国経済の概況

- ・ 堅調な輸出と底堅く推移する内需を背景に緩やかな景気拡大が続いている。4～6月期の実質GDP成長率は、輸出と投資の堅調に加えて在庫調整圧力の緩和が寄与して前年同期比4.9%に加速した。
- ・ 7月の輸出は、地域別には欧州やアジア向け、品目別には自動車、携帯電話などを中心に前年同月比17.8%増と好調であった。なお、7月の自動車輸出が同51.6%増と大幅に拡大したのは昨年7月の自動車輸出が現代自動車のストの影響で同21.5%減と大きく落ち込んだ反動も一因と見られる。
- ・ 韓国銀行(中銀)は8月9日、設備投資の伸びを上回る企業向け貸出、特に中小企業向け貸出の増加が見られるなどやや過剰な流動性の増大が続いていることを理由に前月に引続き政策金利の引き上げ(4.75%→5.00%)を決めた。なお、韓国中銀が2カ月連続で利上げを行うのは今回が初めて。



韓国の主要経済指標

		2004年	2005年	2006年	06/3Q	4Q	07/1Q	2Q	07/4月	07/5月	07/6月	07/7月
GDP (yoy)	実質GDP	4.7	4.2	5.0	4.8	4.0	4.0	4.9				
	うち民間消費支出	0.3	3.6	4.2	4.0	3.7	4.1	4.1				
	うち固定資本形成	2.1	2.4	3.2	4.6	4.5	7.0	6.8				
	うち設備	3.8	5.7	7.6	11.1	5.3	10.8	12.1				
生産	鉱工業生産(yoy)	10.2	6.2	10.1	11.4	5.2	3.4	7.0	6.8	6.7	7.6	
消費	小売売上高(数量,yoy)	0.2	4.3	4.9	4.5	4.2	4.4	3.0	2.0	3.5	3.5	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	29.4	23.2	16.1	2.5	7.5	2.5	5.3	0.5	1.3	3.6	1.1
	輸出(yoy)	31.0	12.0	14.4	16.3	13.8	14.6	14.2	17.1	11.1	14.6	17.8
	輸入(yoy)	25.5	16.4	18.4	21.1	13.0	13.3	14.3	20.4	13.5	9.3	14.5
	経常収支(10億ドル)	28.2	15.0	6.1	0.4	6.1	1.7	0.2	2.1	0.8	1.5	
	外貨準備高(10億ドル)	199	210	239	228	239	244	251	247	251	251	255
雇用	失業率(季調値)	3.5	3.5	3.3	3.2	3.1	3.4	3.0	3.2	3.0	2.9	3.0
物価	消費者物価(yoy)	3.6	2.8	2.2	2.5	2.1	2.0	2.4	2.5	2.3	2.5	2.5
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	5.9	7.0	11.4	8.9	11.4	11.5	10.9	11.1	10.9	10.9	
	株価指数(総合)	896	1,379	1,434	1,371	1,434	1,453	1,744	1,542	1,701	1,744	1,933
	為替レート(ウォン/ドル)	1,140	1,023	953	953	935	940	929	929	930	927	923
	為替レート(円/100ウォン)	9.5	10.8	12.2	12.2	12.6	12.7	13.1	12.8	13.1	13.3	12.9
	CDレート(3ヵ月物)	3.79	3.65	4.48	4.65	4.64	4.94	5.01	4.95	5.04	5.03	5.05

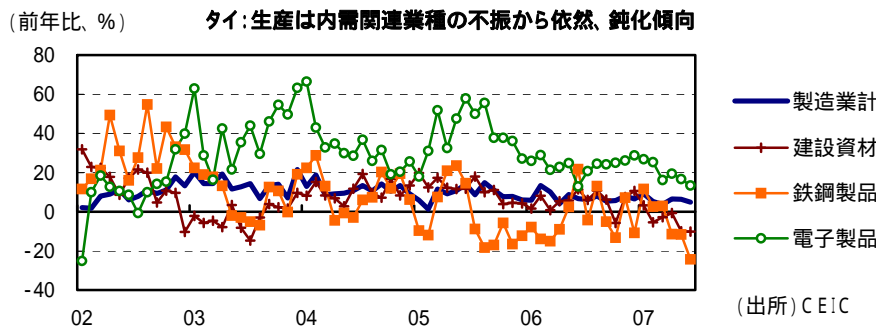
(出所)CEIC

(注)yoy=前年比(%)

ASEAN・インド

1. タイ経済の概況

- ・ 内需に持ち直しの兆しが見えるものの、これまで堅調に推移してきた輸出が足元で鈍化し、景気は依然として弱含みで推移している。7月の輸出は米国向け輸出が前年同月比 13.6% 減と低迷したことから同 5.9% 増と大幅に鈍化した。6月の製造業生産は建設資材・鉄鋼製品など内需関連業種の生産鈍化から前年同月比 4.8% 増と前月（同 6.3% 増）からさらに鈍化した。しかし、総合消費指数が同 0.7% 増と4ヵ月ぶりにプラスに転じたほか、民間企業投資指数も同 2.7% 減と前月（同 4.0% 減）に比べて再びマイナス幅が縮小するなど内需に持ち直しの兆しが見えてきた。
- ・ 8月19日に行なわれた国民投票で新憲法草案が承認された。この結果、12月中に行なわれる総選挙により民政移管が実現する見通しとなった。これにより政局が安定するかどうかは予断を許さないが現地では景気にプラスとの見方が強いようだ。



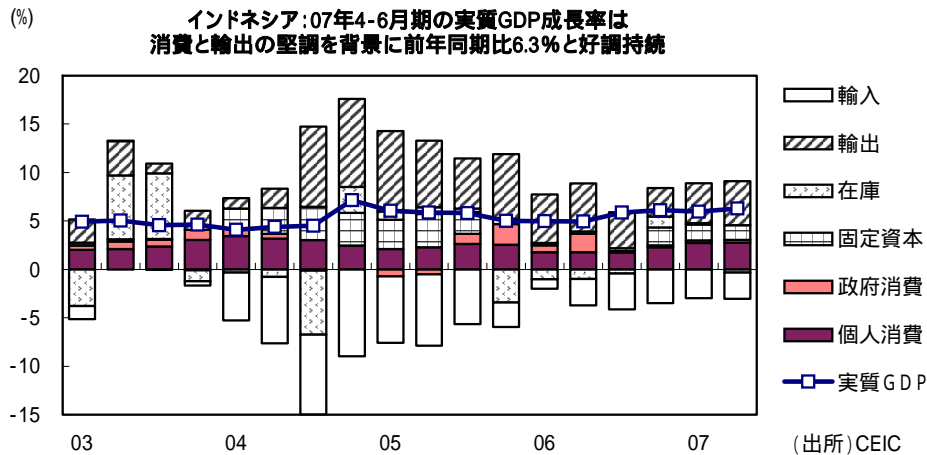
タイの主要経済指標

		2004年	2005年	2006年	06/3Q	4Q	07/1Q	2Q	07/4月	07/5月	07/6月	07/7月
GDP (yoy)	実質 GDP	6.3	4.5	5.0	4.7	4.3	4.3					
	民間消費	6.2	4.3	3.1	2.8	2.5	1.3					
	総固定資本形成	13.2	11.1	4.0	3.2	2.4	1.4					
生産	製造業生産指数(yoy)	11.7	9.1	7.4	6.4	6.8	6.0	5.9	6.7	6.3	4.8	
消費	総合消費指数(yoy)	3.9	0.9	1.7	2.6	1.3	0.5	0.0	0.4	0.4	0.7	
投資	民間企業投資指数(yoy)	16.4	10.1	2.2	3.1	0.6	2.1	3.0	2.2	4.0	2.7	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	2.5	7.2	3.1	1.7	3.5	3.7	1.8	0.1	0.8	0.9	0.2
	輸出(yoy)	20.6	14.9	17.1	16.1	19.1	17.8	18.6	18.1	20.4	17.3	5.9
	輸入(yoy)	25.3	25.7	7.3	13.4	6.1	3.8	7.3	10.6	6.7	5.1	2.4
国際収支	経常収支(10億ドル)	2.8	7.9	3.2	1.2	3.6	4.9	1.3	0.1	0.2	1.2	
	外貨準備高(10億ドル)	49.8	52.1	67.0	61.6	67.0	70.9	73.0	71.1	71.1	73.0	74.0
雇用	失業率(季調前)	2.1	1.9	1.5	1.2	1.3	1.6	1.6	1.7	1.6	1.4	
物価	消費者物価(総合,yoy)	2.8	4.5	4.6	3.6	3.3	2.5	1.9	1.8	1.9	1.9	1.7
	消費者物価(コア,yoy)	0.4	1.6	2.3	2.0	1.7	1.4	0.9	1.2	0.7	0.7	0.8
金融	マネーサプライ(broad M,yoy)	5.7	6.3	6.2	7.9	6.2	4.9	3.5	5.0	4.7	3.5	
	商銀貸出残高(yoy)	12.6	8.4	5.6	8.1	5.6	2.9	3.1	3.9	2.7	3.1	
	不良債権比率(3M基準,%)	10.7	8.2	7.5	8.2	7.5	7.5	7.8				
	株価指数(SET)	668	714	680	686	680	674	777	699	737	777	860
	為替レート(円/バーツ)	40.2	40.2	37.9	37.6	36.5	35.5	34.6	34.8	34.6	34.5	33.7
	為替レート(円/バーツ)	2.7	2.7	3.1	3.1	3.2	3.4	3.5	3.4	3.5	3.6	3.6
	インターバンク金利(3M)	1.62	3.28	5.20	5.40	5.25	4.74	3.88	4.15	3.75	3.75	3.55

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)

2. インドネシア経済の概況

- ・ 内需の持ち直しに加えて輸出の好調を背景に景気も緩やかに回復している。4～6月期の実質 GDP 成長率は、前年同期比 9.8% 増と堅調に拡大した輸出を牽引役に、同 6.3% と前期（同 6.0%）からさらに加速。インドネシア政府筋は今年の政府目標である 6.3% 成長達成の可能性が高まったとの見方を表明している。しかし、ルピア安の進展もありインフレが下げ止まる中、足元、消費や投資の回復に一服感が見られることから政府目標の達成は微妙との見方もある。
- ・ 7月の消費者物価上昇率は前年同月比 6.1% と前月（同 5.8%）から 0.3% ポイント上昇した。食品価格の高騰が続いている上に、6月の新学期入りの影響で教育関連の費目が同 10.4% 上昇し全体を押し上げた。こうした中でインドネシア中銀は 8月7日、政策金利（中銀証券 1 カ月物）を 8.25% に据置くことを決めた。



インドネシアの主要経済指標

		2004年	2005年	2006年	06/3Q	4Q	07/1Q	2Q	07/4月	07/5月	07/6月	07/7月
GDP (yoy)	実質 GDP	5.0	5.7	5.5	5.9	6.1	6.0	6.3				
	民間消費支出	5.0	4.0	3.2	3.0	3.8	4.7	4.7				
	総固定資本形成	14.7	10.8	2.9	1.3	8.2	7.7	6.9				
生産	製造業生産 (yoy)	3.3	1.3	1.6	0.4	4.6	7.6	7.0				
消費	小売売上 (yoy)	7.3	15.9	4.0	5.8	16.2	11.8	8.8	8.9	9.2	8.3	
	貿易収支 (10億ドル)	25.1	28.0	39.7	9.9	11.9	10.0	10.0	3.3	3.2	3.5	
輸出入	輸出 (yoy)	17.2	19.7	17.7	21.3	18.7	13.9	14.6	16.6	16.0	11.4	
	(除く石油ガス, yoy)	18.0	18.8	19.8	25.4	24.3	21.5	19.3	24.0	20.5	14.1	
	輸入 (yoy)	42.9	24.0	5.8	9.0	11.0	17.0	15.8	18.1	27.3	3.6	
国際収支	経常収支 (10億ドル)	1.6	0.3	10.0	3.5	1.9	3.1					
	外貨準備高 (10億ドル)	36.3	34.7	42.6	42.4	42.6	47.2	50.9	49.3	50.1	50.9	51.9
物価	消費者物価 (yoy)	6.1	10.5	13.1	14.9	6.1	6.4	6.0	6.3	6.0	5.8	6.1
金融	マネーサプライ (M2, yoy)	8.1	16.4	14.9	12.3	14.9	15.1	15.8	15.5	12.6	15.8	
	株価指数 (総合)	1,000	1,163	1,806	1,535	1,806	1,831	2,139	1,999	2,084	2,139	2,349
	為替レート (ルピア/ドル)	8,985	9,751	9,141	9,135	9,098	9,123	8,988	9,083	8,828	9,054	9,186
	為替レート (円/100ルピア)	1.20	1.13	1.27	1.27	1.29	1.31	1.34	1.31	1.37	1.36	1.32
	中銀債金利 (3ヵ月)	7.39	9.16	11.74	11.63	10.12	8.57	7.92	8.10	7.83	7.83	7.83

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)、04年5月以降、国際収支の集計方法が一部変更され、それ以前とは不連続。

3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標

【マレーシアの主要経済指標】

		2004年	2005年	2006年	06/3Q	4Q	07/1Q	2Q	07/4月	07/5月	07/6月	07/7月
GDP (yoy)	実質GDP	6.8	5.0	5.9	6.0	5.7	5.3					
	民間消費	9.8	8.7	7.1	7.0	7.0	8.6					
	総固定資本形成	3.6	5.0	7.9	3.5	9.8	5.4					
生産	鉱工業生産(yoy)	11.3	4.0	5.2	4.8	4.4	0.2	1.5	0.7	3.2	0.5	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	21.5	26.4	29.5	8.0	8.3	6.0	6.5	1.7	2.3	2.5	
	輸出(yoy)	21.0	11.3	14.0	17.0	11.1	7.6	7.6	1.0	2.7	0.4	
	輸入(yoy)	26.3	9.0	14.4	14.5	11.3	12.4	8.2	3.1	3.5	1.6	
国際収支	経常収支(10億ドル)	15.1	20.0	25.5	27.1	27.9	20.1					
	外貨準備高(10億ドル)	67	70	83	80	83	99	119	104	119	119	
雇用	失業率(%)	3.6	3.6	3.3	3.1	3.0	3.4					
物価	消費者物価(yoy)	1.4	3.0	3.6	3.6	3.0	2.6	1.5	1.5	1.4	1.4	1.6
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	25.2	15.6	17.1	12.6	17.1	17.3	13.0	16.4	17.4	13.0	
	貸出残高(yoy)	26.0	17.5	11.1	12.6	11.1	6.5	6.1	6.5	6.2	6.1	
	不良債権比率(3M基準,%)	7.5	5.8	4.8	5.1	4.8	4.4	4.1	4.3	4.3	4.1	
	株価指数(総合)	907	900	1096	968	1096	1247	1354	1322	1347	1354	1374
	為替レート(リンギ/ドル)	3.80	3.79	3.67	3.67	3.63	3.50	3.43	3.44	3.40	3.45	3.44
	為替レート(円/リンギ)	28.5	29.1	31.7	31.7	32.5	34.1	35.2	34.6	35.5	35.6	35.3
	インターバンク金利(3M,%)	2.93	2.90	3.70	3.83	3.73	3.67	3.60	3.61	3.60	3.60	3.60

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、鉱工業生産は05年以降、2000年 = 100基準。消費者物価は06年以降、2005年 = 100基準。

【フィリピンの主要経済指標】

		2004年	2005年	2006年	06/3Q	4Q	07/1Q	2Q	07/4月	07/5月	07/6月	07/7月
GDP (yoy)	実質GDP	6.4	4.9	5.4	5.1	5.5	6.9					
	民間消費支出	5.9	4.8	5.5	5.2	5.8	5.9					
	固定資本形成	1.3	6.6	1.4	2.1	2.2	2.7					
生産	鉱工業生産(yoy)	1.0	2.2	9.9	8.6	14.2	7.2		1.6	7.1		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	4.4	6.2	4.4	1.2	1.4	0.2		0.2	0.2		
	輸出(yoy)	9.5	4.0	14.9	16.6	7.5	9.2	4.2	5.1	6.1	1.6	
	輸入(yoy)	8.8	7.7	9.2	10.0	8.3	5.5		1.7	3.4		
国際収支	経常収支(10億ドル)	1.6	2.0	5.0	1.0	1.7	1.8					
	外貨準備高(10億ドル)	14.6	17.7	23.0	21.3	23.0	24.7	26.4	25.1	25.6	26.4	28.0
物価	消費者物価(yoy)	6.0	7.7	6.3	6.1	4.8	2.9	2.4	2.3	2.4	2.3	2.6
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	9.4	9.0	21.9	14.1	21.9						
	株価指数(総合)	1,823	2,096	2,983	2,557	2,983	3,204	3,665	3,271	3,475	3,665	3,501
	為替レート(ペソ/ドル)	56.2	55.0	51.3	51.0	49.6	48.5	46.7	47.5	46.3	46.3	45.6
	為替レート(円/ペソ)	1.93	2.00	2.27	2.28	2.38	2.46	2.59	2.50	2.61	2.65	2.66
	TB(3ヵ月,%)	7.32	6.10	5.29	5.64	5.15	3.13	2.98	2.92	3.03	0.00	3.63

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

【シンガポールの主要経済指標】

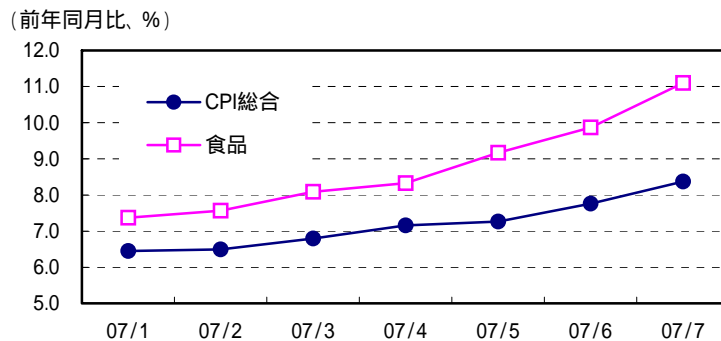
		2004年	2005年	2006年	06/3Q	4Q	07/1Q	2Q	07/4月	07/5月	07/6月	07/7月
GDP (yoy)	実質GDP	8.8	6.6	7.9	7.0	6.6	6.4	8.6				
	民間消費	5.6	3.1	2.5	2.4	2.7	2.5	5.8				
	総固定資本形成	10.2	0.1	11.5	10.3	17.1	17.5	26.0				
生産	鉱工業生産(yoy)	13.9	9.5	11.9	10.2	8.4	4.4	8.3	19.5	17.7	7.4	
消費	小売売上指数(yoy)	14.0	8.6	7.0	5.4	8.1	7.6	7.3	4.6	3.1	14.4	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	25.0	29.6	33.1	8.0	8.9	10.4	8.2	3.0	2.6	2.6	3.4
	輸出(yoy)	24.2	15.6	18.4	19.1	10.5	9.9	7.2	8.0	0.5	0.5	9.1
	輸入(yoy)	27.4	15.2	19.3	21.8	12.9	8.7	6.7	8.2	1.2	0.8	3.0
国際収支	経常収支(10億ドル)	21.5	28.6	36.3	14.3	15.3	16.6	18.2				
	外貨準備高(10億ドル)	113	116	136	129	136	138	144	140	141	144	147
雇用	失業率(季調値,%)	3.4	3.1	2.7	2.7	2.6	2.9	2.4				
物価	消費者物価(yoy)	1.7	0.5	1.0	0.7	0.6	0.5	1.0	0.6	1.0	1.3	2.6
金融	マネーサプライ(M2,%)	6.2	6.2	19.4	12.8	19.4	23.0	23.6	23.2	22.4	23.6	
	株価指数(ストリート)	2,066	2,347	2,986	2,569	2,986	3,231	3,548	3,361	3,511	3,548	3,548
	為替レート(S\$/ドル)	1.690	1.665	1.589	1.579	1.559	1.532	1.525	1.515	1.522	1.537	1.516
	為替レート(S\$/S\$)	64.0	66.2	73.2	73.6	75.5	77.9	79.2	78.5	79.3	79.9	80.1
	インターバンク金利(3M,%)	1.05	2.29	3.46	3.50	3.46	3.25	2.50	2.63	2.38	2.50	2.56

(出所) CEIC 他 (注) yoy = 前年比(%)

4. ベトナム経済の概況

- ・ 内外需の堅調を背景に景気の拡大が続いている。1～7月期の輸出は水産品、原油、繊維・衣料品などを中心に前年同期比 19.5%増と堅調だったが、輸入も機械設備等を中心に同 30.5%増と大幅な拡大となったことから、1～7月期の貿易赤字は 54.5 億ドルと昨年同期の 2.4 倍に達している。
- ・ また 1～7月の小売売上も扇風機やエアコン、あるいは旅行などを中心に前年同期比 25.1%増と大幅増加が続いている。こうした内外需の好調から生産も堅調に拡大している。1～7月期の鉱工業生産は前年同期比 14.6%増となった。
- ・ 一方、景気の拡大持続を背景にインフレ圧力が強まりつつある。7月の消費者物価上昇率は、天候不順や鳥インフルエンザなど伝染病の影響で食品価格が高騰していることから、前年同月比 8.4%と前月(同 7.8%)から一段と加速した。こうした中でベトナム国家銀行(中銀)はインフレ抑制のため短期証券発行による流動性吸収操作の規模を拡大すると発表した。また市場では6月に続き預金準備率(現行 10%)の引き上げの可能性も指摘されている。

ベトナム:消費者物価上昇率の推移



(出所)CEIC、ベトナム統計局

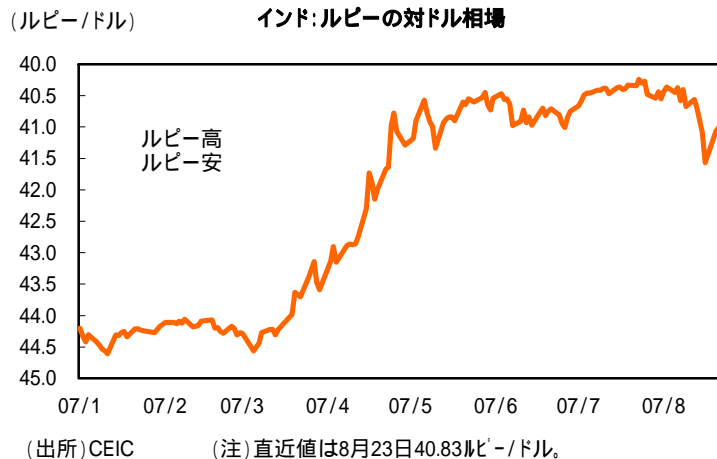
ベトナムの主要経済指標

		2004年	2005年	2006年	06/3Q	4Q	07/1Q	2Q	07/4月	07/5月	07/6月	07/7月	
GDP (yoy)	実質GDP	7.8	8.4	8.2	7.9	8.2	7.7	7.8					
		農業生産	4.4	4.0	3.4	3.6	3.4	2.3	2.8				
	ytd	鉱工業・建設生産	10.2	10.6	10.4	9.8	10.4	9.2	9.7				
生産	鉱工業生産(ytd,yoy)	17.3	16.7	18.3	17.9	18.7	10.8	12.2	8.9	13.1	13.8	14.6	
消費ytd	小売売上(名目,yoy)	20.0	27.6	22.2	21.5	22.2	21.3	27.3	24.5	27.7	27.3	25.1	
	輸出ytd	貿易収支(100万ドル)	5520	4648	4805	3347	4805	1711	4653	2555	3827	4653	5453
輸出ytd	輸出(yoy)	30.8	24.0	22.9	24.9	22.9	18.6	19.7	19.6	19.7	19.7	19.5	
	輸入(yoy)	26.1	17.0	20.4	20.1	20.4	39.0	31.3	35.1	32.8	31.3	30.5	
国際収支	経常収支(100万ドル)	957	217										
	外貨準備高(100万ドル)	7,041	9,050	13,383	11,904	13,383							
物価	消費者物価(yoy)	7.9	8.3	7.5	7.3	6.7	6.6	7.4	7.2	7.3	7.8	8.4	
金融	株価指数(VN index)	239	308	752	527	752	1,071	1,025	924	1,081	1,025	908	
	為替レート(ドン/ドル)	15,714	15,827	15,967	15,988	16,051	16,016	16,053	16,034	16,043	16,084	16,100	
	為替レート(円/100ドン)	0.70	0.71	0.74	0.74	0.75	0.76	0.76	0.75	0.77	0.77	0.77	
	銀行間金利(翌日物)	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	8.00	5.48	4.45	4.13	3.86	5.35	3.21	

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、GDP、生産、小売、貿易統計の四半期、月次はいずれも年初来累計ベース(ytd)。

5. インド経済の概況

- 内外需の堅調を背景に景気の拡大が続いているものの、インド準備銀行（中銀）の利上げの影響から一部に鈍化の兆しが見える。6月の鉱工業生産は前年同月比9.8%増とついに前年比一桁台に鈍化した。金融引締め政策の影響に加えて洪水によって物流が停滞したことなどが原因と見られている。今後も当面、高金利、洪水、さらにルピー高の影響から生産の鈍化が続くとの見方が多い。
- インド準備銀行は7月31日の政策会合でインフレ抑制のため8月4日より預金準備率を6.5%から7.0%に引き上げることを決めた。ただし、政策金利（レポ金利）は7.75%に据置かれた。また、8月7日には輸出産業に打撃を与えているルピー高の進行に歯止めをかけるために、企業の海外からの資金借入れに関する規制の強化を発表、新規則は即日発効した。



インドの主要経済指標

		2004年	2005年	2006年	06/3Q	4Q	07/1Q	2Q	07/4月	07/5月	07/6月	07/7月
GDP (yoy)	実質GDP	7.2	8.7	9.6	10.2	8.7	9.1					
	農業生産	1.7	5.1	3.3	2.9	1.6	3.8					
	実質GDP (年度)	7.5	9.0	9.4								
	農業生産 (年度)	0.0	6.0	2.7								
生産	鉱工業生産(yoy)	8.5	7.9	10.5	11.8	11.2	12.5	11.0	12.4	10.9	9.8	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	21.7	44.1	54.4	14.2	18.1	12.6	20.6	7.1	6.2	7.3	
	輸出(yoy)	31.5	28.8	24.2	30.3	19.5	12.6	18.1	23.1	18.1	14.1	
	輸入(yoy)	36.5	45.4	23.9	24.1	35.3	15.3	34.3	40.7	26.4	36.7	
国際収支	経常収支(10億ドル)	0.8	7.8	9.4	4.8	2.8	2.6					
	外貨準備高(10億ドル)	125.2	131.0	170.2	158.3	170.2	191.9	205.2	196.9	200.7	205.2	218.1
物価	卸売物価(yoy)	6.6	4.7	4.8	5.1	5.6	6.4	5.4	6.3	5.5	4.4	4.4
	消費者物価(yoy)	3.9	4.0	6.3	6.6	7.0	7.0	6.3	6.7	6.6	5.7	
金融	M3(M3,yoy)	12.8	17.8	19.2	18.9	19.2	21.3	21.7	19.8	19.7	21.7	21.7
	株価指数(BSE Sensitive)	6,603	9,398	13,787	12,454	13,787	13,072	14,651	13,872	14,544	14,651	15,551
	為替レート(ルピー/ドル)	45.2	44.1	45.3	46.3	44.7	44.0	40.9	41.3	40.7	40.8	40.4
	為替レート(円/ルピー)	2.39	2.50	2.57	2.51	2.64	2.71	2.95	2.88	3.0	3.0	3.0
	TB3ヶ月	4.70	5.43	6.40	6.48	6.80	7.67	7.38	7.35	7.39	7.39	4.46

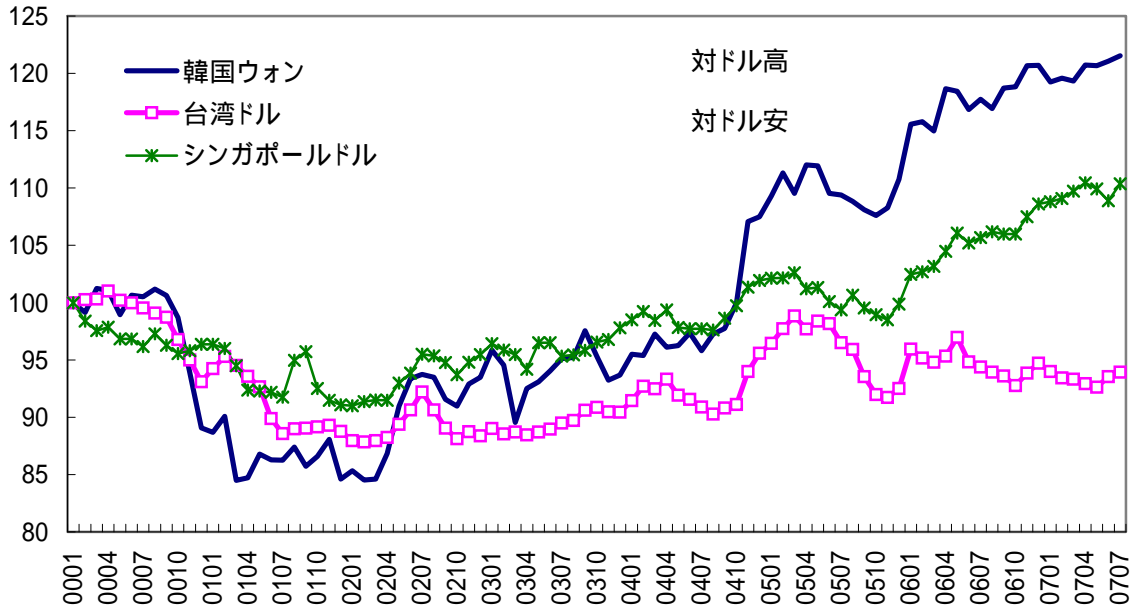
(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、年度は4月から翌年3月

アジア通貨・株価動向

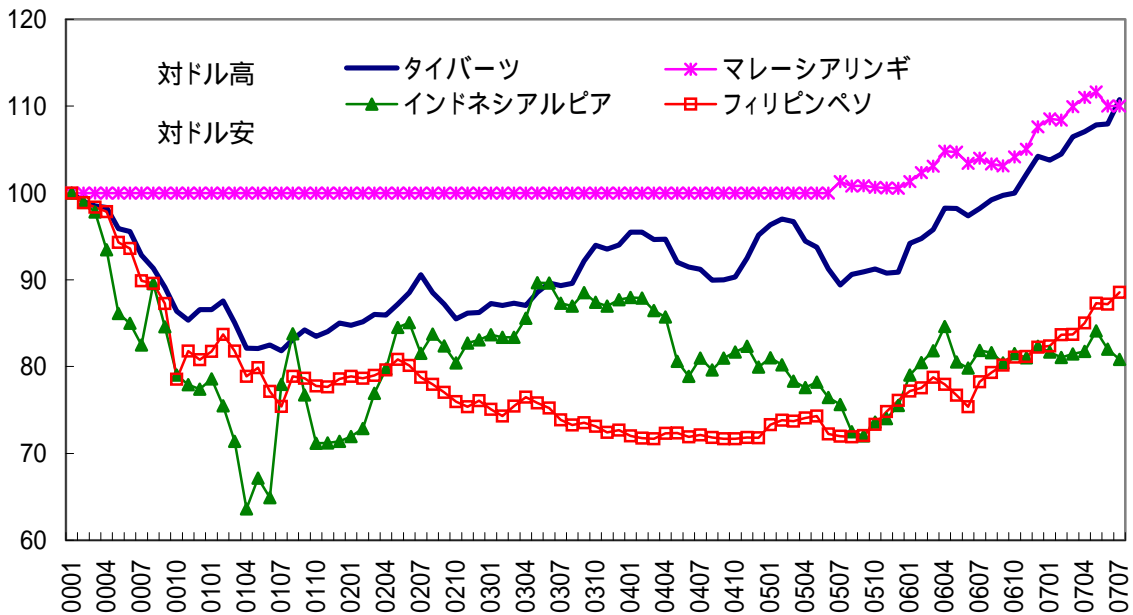
アジア通貨の対ドル相場の推移

< 2000年1月 = 100 >

(2000年1月 = 100)

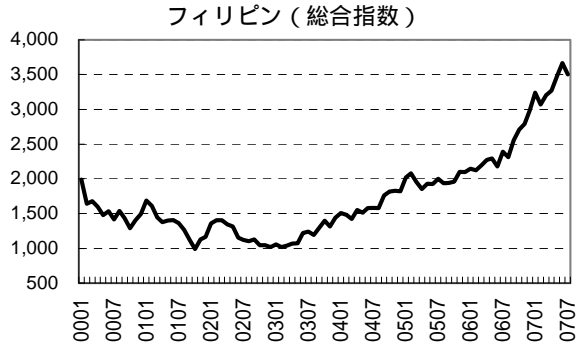
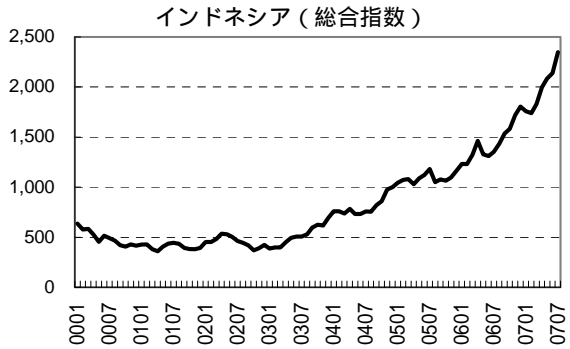
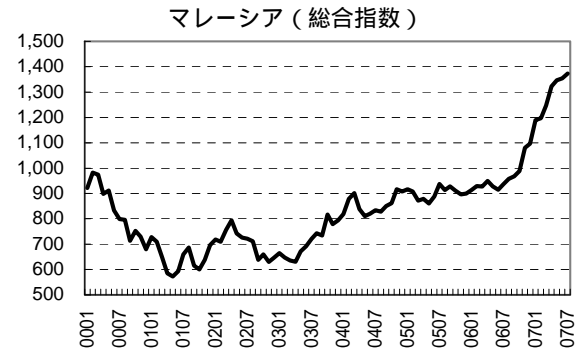
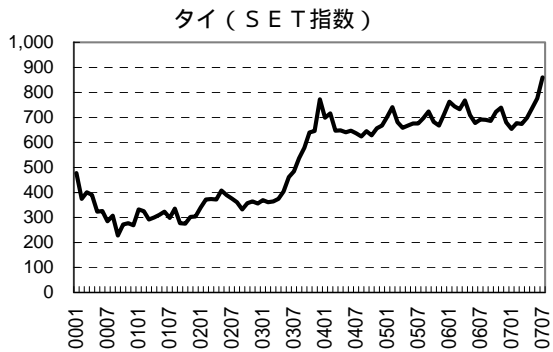
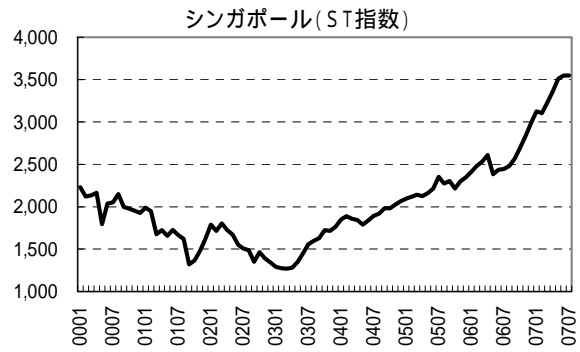
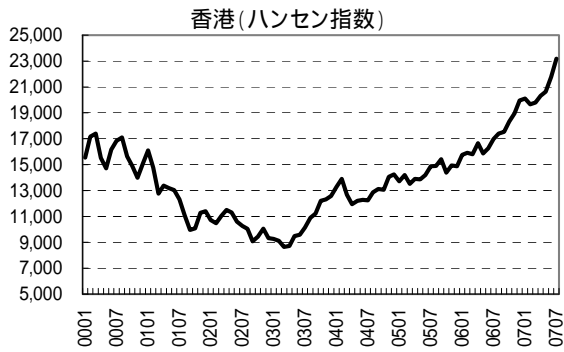
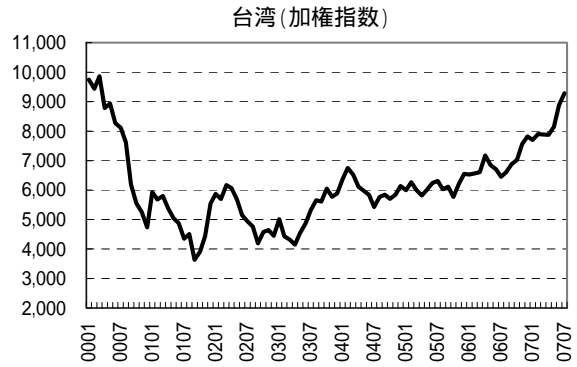
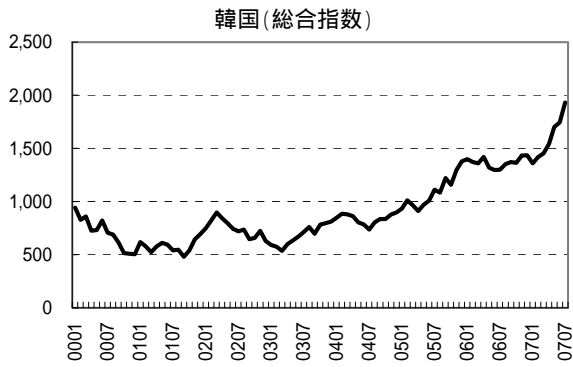


(2000年1月 = 100)



(出所) CEIC

アジア諸国の株価動向（月末値）



(出所) CEIC

本レポートに掲載された意見・予測等は資料作成時点の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。